



## 総会・役員会

### ☆第3回拡大役員会☆

9月3日(土)10:00～楽習館映像ホールにて、今年度前半の報告と後半の活動について話し合われました。議論の中心は本年度の活動計画で10月に2

回予定されていた企画講座についてでした。豊田会長の提案を元に話し合わせ、決定されたのはご存じの「プロの講談を



会議の様子

聴く会」でした。コロナ感染症第7波の動向が危惧されるため幾つかの予定された活動がすでに中止になりましたが、活動は着実に増えており、この紙面の以下の記事にて順次取り上げていきます。

## 協働活動

### ☆埼玉葛人権を考えるつどいに参加して☆

10月6日(木)「埼玉葛人権を考えるつどい」に初参加をさせて貰いました。



折り鶴が光のベールに

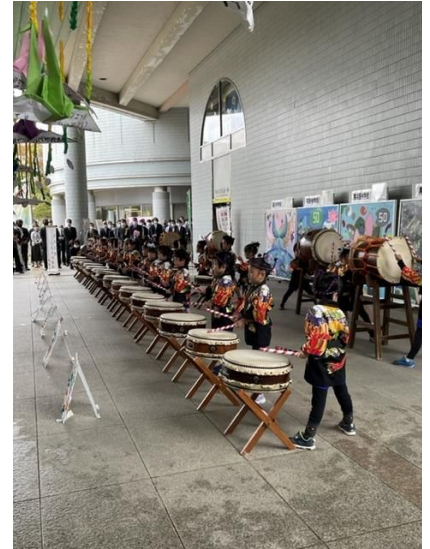
久喜総合文化会館に到着、入り口から出迎えてくれた折り鶴に圧倒されました。折り鶴の数は合わせて何と124万5379羽で、会場(大ホール)の中の折り鶴の演出はまるで光のベールに囲まれた様でとても感動しました。

大ホールの壁に映し出されたコスモスに秋を感じながら、元気いっぱいのチア部ダンスを始め、吹奏楽部のパフォーマンスまで、本当に楽しみました。

31回目「埼玉葛人権を考えるつどい」のテーマは心をまっすぐ心一つにして人々の心に響き渡る言葉として「詩(うた)」でした。特に、「友達や家族を思いやる心、やさしい心」をテーマに埼玉12市町の児童が作成した「メッセージ入り行灯」には心が和まされ笑顔になりました。

閉会行事のフィナーレで来年開催される越谷市の市長による「だるま開眼式」が行われ、その熱気と意気込みは「1年後」に期待を抱かせました。第32回「埼玉葛人権を考えるつどい」2023年10月5日(木)越谷会場(越谷コミュニティセンター)に行くのが待ち遠しいです。

(14期 友利 明寛)



太鼓での歓迎



子どもたちの演奏



多くの子どもたちが参加

## 企画活動

### ==共同企画==

#### ☆八潮ジャズフラッシュ 2022☆

コロナ感染症の拡大が心配される7月24日(日)に、感染対策を充分に行い、「八潮ジャズフラッシュ 2022」は2年9ヶ月ぶりに開催され、熱いステージが繰り広げられました。

OB会は受付を毎年担当しています。初めて受付をしましたが、常連さんが多いようで受付時間より早く来場する方が



受付の様子

1階ホールに並ぶほどでした。感染症対策で席は一つ置きですが、150人ほどの来場者がありました。

演奏するバンドは「サーズデイ・ジャズクラブ」さんです。

サーズデイは毎週木曜日に練習を行っているからだそうです。演奏は第1部が～jazz～「ビギン・ザ・ビギン」から始まり、「スウィング



開演

しなけりや意味がない」など、ジャズの知識はないのですが、これぞジャズと思いました。ボーカルの女性の声が素敵でしたし、5曲目の「モーニン」のトランペットが最高でした。第2部は～Screen Music～何処かで聞いた懐かしい曲で、サクソやトロンボーンの見せ場があり「ムーンリバー」は格好良かったです。第3部は～Latin～メリハリのあるエネルギッシュな曲「ブラック・マジック・



司会 深谷順子さん



ボーカル 石井久美子さん



出演者全員での演奏

ウーマン」、「フライミー・トゥ・ザ・ムーン」などピアノが軽快でとても良かったです。アンコール2曲は拍手を伴い大盛り上がりし、拍手喝采で終了となりました。

初めて生演奏でジャズを聴きましたが子どもから年配の方までが楽しめ自然に身体が「スウィング」していました。



(14期 金澤 文子)

### ==企画講座==

#### ☆平家物語でお口の体操☆

9月16日(金)10:00～12:00、楽習館 映像ホールで行われた企画講座「平家物語でお口の体操」に参加しました。

これはチラシのタイトルにもあったように「音読で口輪筋を鍛えよう」という意図があります。講師は市民大学1期の坂本藤次氏です。参加者はOB会員と一般の方で13名でした。



講師はお馴染みの坂本藤次氏

本企画講座は毎月第1、第4金曜日13:00から坂本講師が主宰している「お口の体操」の講座紹介をかねて開催したものです。この講座に興味のある方

は是非参加してみてください。

今回の音読対象は「平家物語 巻九 木曾最期」でした。平家物語を知らなくてもNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の内容からストーリーはご存じの方が多くと思います。木曾義仲が源頼朝の討伐軍に追われ、巴(ともえ)御前とともに逃げますが、義仲は討伐され、巴御前は東国へ逃げるという、源平合戦の一場面です。

テキストは古文なので基本的には読み難いのですが漢字にはフリガナがあり、「範読※」があり、→文を短く区切って練習読み→1行ずつ練習読み→全体を皆で群読することで「内容の理解・教養UP」と「お口の体操」になり、「認知症予防」に効果が期待できるのではないかと思います。

※範読(はんどく)とは教師が読み方の手本として読んで聞かせること。

(10期 豊田 隆)

## ☆「神田伊織師」を招いてプロの講談を聴く☆

11月5日(土)の午後、楽習館多目的ホールは講積場に変貌しました。

前半は講談の出来た歴史などを話し、休憩を挟んで、後半はユダヤ人を救った「杉原千畝」の話しを創作講談として演じて頂きました。

目の前にプロの講談師が、身振り、手振りを交えて、話しが進んで行くうちに、自分はどんどん講談に引き込まれていきました。感動しました。

講談師が誕生した歴史としては、戦国時代に「平家物語」や「太



講談師 神田伊織



始めに講談についてのお話



いよいよ話は佳境に

平記」等の軍記読みを専門とする者が現れました。その代表が戦国時代の赤松法印で、講談師の祖といわれます。赤松法印は徳川家康に「源平盛衰

記」や「太平記」を読み聞かせました。

(歴史について下記 URL を参照下さい)

<https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc20/rekishi/kodan/index1.html>

東京の講談師の系図を見てみると、一龍齋派、宝井派、田辺派、神田派(日本講談協会)、神田派(講談協会)があるようです。神田伊織師は神田派(講談協会)に属していて、神田香織師匠の弟子です。

(詳しくは下記 URL を参照下さい)

<http://koudanfan.web.fc2.com/shoukai.htm>

最後に、今回の企画講座を開催してくれた、市民大学 OB 会役員の方達に感謝します。来年も開催して頂ける事を切望します。

追記、私は市民大学OB 会として「八潮 Jazz Flash」のお手伝いをしています。様々な市内での公演会活動に積極的にに関わり、八潮市の文化協会との連携をさらに深め、OB 会だけでなく地域市民を巻き込んだ文化活動を推進していきたいと考えています。

(8期 原文雄)



講談に引き込まれるホール



会場準備完了



会長挨拶



受付は順調でした

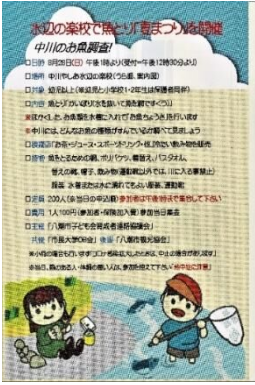


司会の村松さん

## 部 会 活 動

### ==水辺の楽校活動部会==

#### ☆水辺の楽校で魚とり「夏まつり」を開催☆ ～中川のお魚調査～



日時：令和4年8月28日  
(日)13:00～16:00  
場所：中川やしお水辺の楽校  
主催：八潮市子ども会育成者  
連絡協議会(市子育連)  
共催：やしお市民大学OB会  
後援：八潮市観光協会

前日から降っていた雨も、11時頃には傘はいらない状態になり、12時頃には雨は止みました。担当役員が朝の8時頃から池の水抜きを始め、13時からの開始に備えました。雨模様でしたので、今日はみなさんが来てくれるのかと心配でした。しかし、良い意味で裏切られ、約130名の親子が参加してくれました。



13時過ぎから池に入り、魚つかみを開始しました。親子が泥にまみれて、ボラ、エビなどを網ですくって取りました。泥んこになって魚を取る事を親の方も経験したことがないようで、親子で楽しんでいました。親の方の中には「市内にこのような楽しめる場所があったのか。」と認識を新たにされる方もいらっしゃいました。



やしお市民大学OB会(水辺の楽校活動部会)からの参加メンバーは小林義和氏(4期)、高橋金作氏(8期)、岩根秀夫氏(8期)、原文雄(8期)で、八潮市議の大



泉芳行氏も参加されました。お手伝いは事故のないように、池の周りの監視をすることでした。

(8期 原文雄)

### ==太極拳部会==

#### ☆「私の目標は先輩」☆

何か健康のために運動をしなければと思っていた時、OB会の総会で太極拳を見て「これだ!!」と始めて3,4年、師範や先輩方を真似てやるのですが、なかなか覚えられません。毎回丁寧に説明して動きを出来るまで、足の位置から指先まで師範が指導してくれます。



八段錦は呼吸法に合わせて八つの型を行う気功で、それぞれの動作や呼吸が内臓や脳に刺激を与えることにより、内臓の動きをよくすると考えられます。心を込めて深い呼吸にあわせ、ゆっくり動くことにより心身をリラックスさせる中国由来の運動健康法です。

背筋を伸ばし、手を上げて深い呼吸すると気持ちいいんです。先月は肩が痛くて腕が上がらなかったのですが、動かさないと良くならないのでリハビリと思って休まずに頑張り、ゆっくりした動きなので何とか行けることができ徐々に良くなりました。型も少し覚えてきて、24式は曲を流してやるのでうまくなった気になり楽しいです。私より先輩の方々は、蹴りをしてふらつかずスッと足が上がりすごい！太極拳は体幹も良くなり立って靴下が履けると自慢していました。私はまだまだでふらついてしまうので、スッと蹴りができるようになるのが目標です！



そして仲間との交流、おしゃべりが何より楽しいので頑張ろうと思います。

(14期 金澤 文子)

(14期 金澤 文子)

## ==料理部会==

### ☆そば打ち体験教室☆

コロナ禍で休会していたが、11月6日(日)10時~1時リラート八幡(旧八幡公民館)にて、「国際交流やしお」との共催で開催でき、その報告をさせていただきます。

ウクライナから避難され「国際交流やしお」日本語教室にも出席されたカテリーナさん(大学生・女性)八潮市に在住されています。



完成品

東京を初め各地で歓迎のイベントが開催されています。この八潮市でも何かできないか、家族はウクライナ(クリミア半島)で厳しい生活をされているとの事、単純な同情には抵抗があることから、日本の食文化を知って頂こうと「そば打ち」を企画しました。残念ながら本人はすでに予定があり欠席でしたがウクライナ出身の方が参加され、講師の指導のもと、真剣にそば打ちに挑戦されていました。

募集16人(お断りした人4人、ごめんなさい)、キャンセル3人、参加者12人(OB会員5人)

本日の成果は、天ぷら付きの試食とそばのお土産(2人前から4人前)付でした。1鉢(4人前)を2人で打つ予定でしたが、キャンセルのため一人で打った人はそのまま持ち帰りました。皆さん「柿の天ぷら」には驚かれました。(評判 good)

市民協働推進課の松戸さんが視察に来られ、そのまま天ぷらを揚げて頂きました。大変失礼しました。私もそば打ち(ほとんど出来なかった)+天ぷら+パン焼き+写真(間違っって動画も撮る)と対応し、肝心な感想を聞くのを失念しました。それでも帰りには皆さんから挨拶を戴き満足そうに引き上げられる姿を見て疲れも



ベトナム出身、実際に切っています



多くの方がそば打ち初挑戦でした

吹き飛びました。また「楽しかった」と感謝のメールも頂きありがとうございました。料理部部長代理池淵でした。(1期 池淵 勉)

10期豊田も参加させて頂きました。そば打ちは初体験でした。そば粉8割の粉に水を加えて団子にする



試食中に尺八の演奏披露 会長、お味は?

時、「だま」ができないように、かつ、空気を抜くように練っていく感覚がとても難しかったです。出来上がったそばを食べると、とても「美味」でした。又、我が家ではお土産のそばを夕飯に頂き、妻からも褒められました。(10期 豊田 隆)

## ==健康ウォーキング部会==

### ☆幸手権現堂堤の曼珠沙華鑑賞☆

9月27日は、週間予報の雨マークが消えないため気を揉んでいましたが、台風14号が通りぬけて青空の広がる天気恵まれ、ホッとしてのお出かけ日和でした。

幸手駅は小さな古びた駅の印象でしたが、30年ぶりに下車したら、新しく近代的に変わっていて驚きました。昔から日光に繋がる宿場町らしく旅館や神社、寺院も多く、何より目を見張ったのは婦人服のブティックや化粧品店が立ち並んでいた事です。「幸せをつかむ手」と書いて幸手とは妙に納得し、女性にはうれしい静かな街でした。



曼珠沙華

キンモクセイの香りがただよう中、秋の気配を感じながら堤に着くと、複雑な形をして一面を真っ赤に染めた彼岸花



幸手権現堂桜堤

は見事でした。別の呼び名は30種類もあるそうですよ。程よく歩いた身体に「花より団子のみたらし」と「あんこの草もち」の差し入れに美味しくて笑顔

がこぼれっぱなしでした。

私達の年代は、朝に元気に出発しても熱中症の危険が隣り合わせです。身体のチェックは自身でします。朝食を抜かず水分をしっかり摂り、綿より速乾性のあるシャツを着ること。又、5本指の靴下は地面を踏ん張れるから理に叶っているようです。

いつも楽しみな昼食は駅近くで私達のために貸切りにしてくれた「和処すずや」さんでの和やかなひとときでした。

今回の部長さんからの案内と一緒にのひと言アドバイスは、疲れた身体にかぼちゃを皮ごと食べれば疲労回復、免疫力強化との事、加熱してもビタミンCは壊れにくいそうで、早速夕食の一品にしました。又、風呂の中では正座して血行を良くする事を教わりました。

季節の景色を眺め、頭と身体をリフレッシュした一日でした。

(7期 高橋 和子)

### ☆本日の散策地は『守谷』☆

10月に入り、半月を過ぎた21日(金)、やっとの小春日和、早朝より気分上々、スタート前の指導者挨拶は辛口脅し文句、でも耳から足へとスツと抜けて行



熊野権現社前で



赤色が見事に



「和処すずや」にて



小春日和の中で

きました。

スタート地の南守谷駅は八潮から電車で30分ほど乗れば着いてしまうのですが、本日参加メンバーのほとんどが初めて下車したのではないかと思います。まさに近くて遠い駅！

そこは想像を超えた自然溢れる地でした。いきなりの山道、『野鳥の森』に入り森林浴、次に『西林寺』、本堂前のしだれ桜は時季外れでしたが、堂々とした枝振り、そして、『行く歳や空の名残を守谷まで』小林一茶がここ西林寺で過ごすことが多かったと言われ境内の句碑を見学。来た道を少し戻り、『鳥の道』木道を散策、ここは県産ヒノキを切り出した、1キロ弱の間は里山風景に溶け込み、時を忘れる空間でした。続いて『守谷城址公園』、平将門によって建てられたと言われ、土塁や堀などを生かしたビオトープを散策しました。終盤に近づく守谷駅前が開発都市的空間、大自然とのギャップを楽しみました。昼食前に立ち寄った『長龍寺』、やはり将門縁の寺院、お庭は小京都を感じさせる景観美が私達を労ってくれました。



西林寺



里山の風景の中を



長龍寺

毎回、お楽しみの昼食は守谷駅前『ひさご亭』で季節感溢れる松花弁当を堪能し、お酒も進み、満足、満足の日でした。

(14期 平松 伸介)

## 同期生の話題

☆LINE で繋がり、お互いの写真を楽しみます☆



やしお市民大学16期の9人はスマホアプリのLINEのグループを組んでいます。LINEを使って気軽に会話や写真の共有を楽しんでいます。先の2枚の写真は主に寺沢さんが投稿した写真を白石さんがまとめたものです。葛西用水沿いのソメイヨシノの花が時と伴に移り変わる様子を2年分掲載させていただきます。

それぞれの中央の写真は「花筏(はないかだ)」の光景です。花筏とは散った桜の花びらが水面に浮き、それらが連なって流れていく様子のことですが、花見の最後を飾るフィナーレと言える光景です。

(16期 鹿野 雅巳)

## 特別寄稿

☆ウォーキングのすすめ☆

私はほとんど毎日4時00分に自宅を出発し、流山街道までの約3.5kmの距離を歩いています。同じ時間には20人ぐらいの人がウォーキングを楽しんでいます。6時半には中馬場公民館でのラジオ体操(参加者平均65名)にも参加しています。自宅に戻ると約11,000歩です。



3年前の新型コロナウイルスが全国に広がり始めたころから、自分の健康管理のためにやっている運動です。「埼玉県コバトン健康マイレージ」アプリをスマホに入れてほかの運動好きの県民と競争して体を動かしています。4月現在加入者が10万人を突破しています。各市町村の歩数歴や職場対抗の歩数歴等々大変に参考になります。

この取組は年に4回の抽選があり、季節野菜、彩の国黒豚、QUOカード、コバトン健康マイレージオリジナルグッズ、埼玉県こども動物自然公園招待券等が当たる可能性があります。私は3月に「地元のクッキー」と「季節野菜」が当たりました。

(16期 寺沢 健二)

## 連絡事項

### ☆行事予定☆

- R5/2/4 (土) : 大学院研究発表会  
於：楽習館多目的ホール
- 2/18 (土) : 自主研究発表会  
於：楽習館多目的ホール
- 3/4 (土) : 市民大学・大学院卒業式  
於：メセナ集会室
- 3/18・19 又は 25・26 の (土) (日)  
：第17回中川やしお花桃まつり  
於：中川フラワーパーク

### ☆「駅前での案内係」参加のお願い☆

現在、第17回中川やしお花桃まつり（協働活動）が実施の方向で計画が進められています。OB会としては「駅前での案内係」を協力させて頂いています。2名ずつ2日間の午前午後で合計8名の方をお願いすることになります。

### ☆次号の案内☆

次回令和5年3月発行の63号はやしお市民大学・同大学院の学びの成果、各部会の活発な活動の報告、特に、誌面に余裕が予想されるので各期の懇親会などの同期や有志の活動を積極的に掲載したいと考えております。記事の投稿締め切りは2月末日、鹿野に届くようにお願いします。よりよい紙面のため記事投稿をよろしくお願い致します。

### ☆投稿に当たって☆

- ・記事は300～700文字程度とし、できるだけ写真添付でお願いいたします。
- ・写真を貼り付けたワードの文章やワードの文章と写真を添付した「e-mail」が助かりますが、手書き文章と写真の「郵便での送付」または「手渡し」でも結構です。
- ・企画事業はじめOB会の記事は会長又は副会長経由、部会報告は部長経由、その他は適宜記事の提供をお願い致します。

紙面に余裕のある際には会員の皆さんの自由な投稿を特別寄稿として掲載していきたいと思っております。皆さんも気軽に投稿をお願いします。写真がなくても大歓迎です。

### ☆やしお市民大学OB会「OB通信」QRコード☆

バックナンバーが見られます。  
スマホ、タブレットでQRコード  
を読み取ってください。



### 編集後記

本通信の発行に当たり、記事を寄せていただいた方々に感謝申し上げます。

OB会の下期のメインイベントは楽習館の多目的ホールを利用した講談の公演を主催したことだと思います。無事にやりきることができて本当に良かったです。総会のようにみんなが集まれるイベントが今後も企画できると良いと思います。坂本藤次氏による企画講座は定番として次号でも掲載できることを期待します。部会活動の報告は4部会に増えており、継続的な活動に戻りつつあるように感じます。

この通信を通して、ご自分が参加されなかったイベントについて少しでも知って頂き、会の活動に関心を持っていただければ幸いです。

なお、ご意見がございましたら下記にご連絡ください。

~~~~~

### やしお市民大学OB会OB通信編集委員会

編集委員 豊田 隆 (会長 10期)  
寺嶋 誠 (副会長 12期)  
平松 伸介 (副会長 14期)  
金澤 文子 (副会長代理 14期)  
田邊 信代 (10期)  
酒井 美代子 (13期)  
堀 公保 (13期)  
高橋 専一 (14期)

責任者/連絡先/記事送付先：

鹿野 雅巳 (16期)

(PCメール) [mf-kano@td6.so-net.ne.jp](mailto:mf-kano@td6.so-net.ne.jp)

(郵便) 〒340-0822 八潮市大瀬 4-1-11

(電話・Fax) 048-995-4892

(携帯メール) [kleostar3@gmail.com](mailto:kleostar3@gmail.com)

~~~~~